

茨城県の交通情勢

県内を取り巻く交通環境

◆ 自家用車に依存している！

- 人口当たりの自家用車数0.69台で全国2位
- 通勤・通学者の自家用車利用率69.9%、全国平均の46.9%より高い(R2年国勢調査)

◆ 自動車優先意識が高く、交通ルールを守らない！

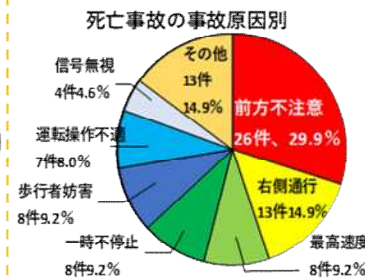
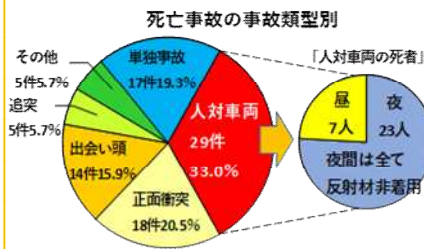
- 信号機のない横断歩道における車の一時停止率26.3%、全国ワースト8位(R4年JAF調査)
- 一般道路での運転席、助手席、後部席シートベルト着用率はいずれも全国ワースト上位

◆ 飲酒運転を起こしやすい環境

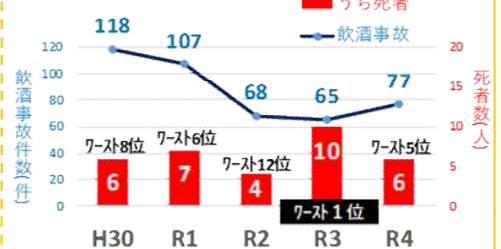
- 飲酒場所への車を持ち込む交通実態、自動車運転代行業者数は全国3位、代行随伴車台数は全国1位



県内の交通事故の特徴 (令和4年中)



飲酒運転による事故の推移



- 死者91人で全国ワースト9位
- 人対車両が約3割
- 人対車両の事故のうち夜間に亡くなった方23人全てが反射材非着用

- 死亡事故に占める前方不注意が約3割

- 飲酒運転による事故は、令和3年まで減少傾向も、昨年は増加
- 飲酒運転による事故死者数は、昨年6人で全国ワースト5位

県民の皆様へアドバイス

- ◆ 夕暮れ時や夜間外出する歩行者の方は、必ず反射材を着用しましょう。
- ◆ 自動車運転中は緊張感を持って運転に集中し、横断歩道等を横断しようとする歩行者がいる場合は手前で必ず一時停止して、歩行者を安全に横断させるなど、歩行者保護を意識した運転をしましょう。
- ◆ 飲酒運転は犯罪です！飲酒すると正常な判断ができなくなるおそれがあるので、飲酒場所にはマイカーを持ち込まないようにしましょう。

警察の取組

- ◆ 反射材の直接貼付等による反射材の着用を推進
- ◆ 横断歩行者等妨害等違反取締りの強化
- ◆ 飲酒運転取締りの強化

